

## 臨時休業中の非正規職員の雇用の継続、特別休暇等を新設

2月28日、新型コロナウイルス感染症対策による政府の要請を受け、突然の臨時休校になりました。これを受け、湘南教組は、非正規職員の雇用の継続や休暇等について、神教組と連携しながら、連日市町教委と交渉を行いました。その結果、雇用の継続を確認し、拡大時差出勤・子どもの世話等に係る特別休暇を新設することができました。しかし、地域によって臨時休校中の対応が様々な状況です。引き続き、学校現場に混乱がないよう組合としてのとりくみをすすめていきます。ご質問等がありましたら、ご連絡ください。

## 全国教研 in 広島 hiroshima

第69次教育研究全国集会が1月24日～26日の3日間、広島県で開催されました。湘南教組からは、正会員2名、司会者1名、傍聴者7名が参加しました。

全体集会では、オープニングとして「被爆ピアノ」によるミニコンサートが行われました。被爆者で調律師の矢川光則さんが寄贈された「被爆ピアノ」（焼け残ったものの、ガラスの破片などが刺さり、傷だらけ）を修理し、平和を考えるきっかけになればと、2001年から「被爆ピアノによる平和コンサート」の活動を続けているとのことでした。

続いて、サヘル・ローズさんによる「出会いこそ、生きる力」と題した講演を受けました。内容は以下の通りです。

『4歳の時に戦争の最中、孤児になりました。7歳の時に孤児院で今の母に引きとられ、8歳で来日してからは、小学校の校長先生だけではなく、給食のおばちゃん、駅員さん、スーパーの店員さんなど、私と母を心から愛してつながってくれる人、信頼して支えてくれる人に出会いました。そこには、国籍や宗教は関係ないのですね。おかげでここまで人生を歩んでこられたのですが、残念ながらそういう方々だけではありませんでした。中学校では、心が粉々になるほど辛く死ぬことまで考える時期もありました。でも、母が必死に私を育ててくれたことに気づき、母のために生きることを自分の目標としました。そして、戦争で人生を狂わされた私たちが助け合っていること、私の生きている意味を伝えたいと思うようになりました。』

教職員の皆さん一人ひとりが子どもたちの人生の学びになります。家に居場所がない子どもがたくさんいます。学校は信頼できる場所に、そして皆さんは一人の人間として子どもたちに寄り添って、向き合っていてほしいと思います。皆さんが恩師として子どもの心に残る存在になっていただきたいです。』

分科会では全国の参加者から様々なレポートの報告があり、「平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立」をスローガンに、活発な議論が交わされました。湘南教組からは、「国際連帯・多文化共生の教育」「総合学習と防災・減災教育」の2分科会に参加し、討議の中で湘南のとりくみを発信しました。



## 2月教研

2月19日、湘南2月教研を開催しました。東京学芸大学教授の大森直樹さんを招いて、「新学習指導要領をどのように現場で展開していくか」と題した学習会を行いました。講師の大森さんは、「新学習指

導要領による限界を超えた授業時数によって、キャッチフリーズ的な「主体的・対話的で深い学び」ができにくくなる。逆に、現場は『流す授業』の蔓延と子どもへの影響が心配される。国が負担軽減を名目にして、現場の議論を欠いたままの施策が具体化していくことには危険性がある。」と話されました。働き方改革が叫ばれる中での時数増、内容増による多忙化により、私たちがめざす「豊かな学び」が遠のく危険性があることを再認識した場になりました。

その後の全国教研の報告会では、「国際連帯・多文化共生の教育」分科会で発表された富士見台小の鈴木さん、「総合学習と防災・減災教育」分科会で発表された湘洋中の和田さんが、全国で発表した実践を報告されました。お二人とも、「他県の報告や討論を通して刺激を受け、これからも教育実践を積み上げていきたい。」と話されました。

## 2／2護衛艦「たかなみ」 海自横須賀基地から中東へ出航



2月2日、中東海域における日本関係船舶の安全を確保するという理由で情報収集に当たる海上自衛艦「たかなみ」が、海自横須賀基地から現地へ出航しました。今年に入り、アメリカがイランの革命防衛隊の司令官を殺害し、イランはその報復として、アメリカ軍駐留基地を攻撃しました。そのような緊張状態にある中東に、政府は海上自衛隊を派遣しました。

今回の派遣では、ホルムズ海峡などの安全確保を掲げるアメリカ主導の有志連合には参加しないとしています。海上自衛隊幹部自衛官を米中央海軍司令部に派遣し、情報交換をおこなっていくともしています。有志連合とは全く無関係というわけではありません。また、政府は「日本船舶が攻撃を受けるなど不測の事態が起きたときには、海上警備行動に切り替えて武器使用をおこなう」と表明しています。もし、中東に出た自衛隊が攻撃を受け、「警備行動のための武器使用」といった最悪の事態に発展してしまったら、日本も戦争に巻き込まれてしまう恐れがあります。

護衛艦出発当日、湘南教組は、平和運動センター、神教組とともに、横須賀ヴェルニー公園に集まり、抗議活動を行いました。当日は中東派遣に反対する市民団体を含めた約200人の参加者が、自衛隊の中東派遣中止を訴えました。平和センターの事務局長は、「今回の中東派遣は今後のなし崩し的な派遣に繋がる恐れがあり、憲法違反である。出航する横須賀から、しっかり反対の声をあげることが重要だ。」と強調しました。1年間という初の長期派遣となり、2月26日から現地での活動が開始されました。引き続き、中東情勢と今後の政府方針に注視していく必要があります。



# 執行部のつぶやき特集

## 「夕暮れ」とフタメン

この3月いっぱい実質役員を降りますが、専従生活の7年間は、現場では決して味わうことのない様々なことがありました。その辛さから、ここで病気になったり事故に遭えば役員降りられるかな…とか本気で思ったこともありました。ということで、「執行部のつぶやき」という企画ですが、本音をつぶやくと、とても紙面には載せられない、生々しく、読むに耐えられない内容なので、組合とは全然関係ないことを書きます。



幼少期の私は「超」のつくテレビっ子で、学校でも友だちやいろんな人のモノマネをして、毎日ふざけてばかりいました。高校・大学時代は野球部でしたが、先輩から一芸を強られる下級生あるある時や合宿・文化祭等での無茶ぶりも、当時の先生や昔のテレビネタのモノマネで切り抜け、いつからか周りを楽しませることに生きがいを感じていました。

そんな生い立ちの軽薄・軽率な私が、教員になってしまいました。駆け出しの頃は、子どもたちを楽しませるにはどうしたらいいのか、そればかり考えていました。みんながみんなでハッピーになることをめざし、喜怒哀楽を前面に出し、がむしゃらに格闘していたと思います。今振り返ると、生意気で足並みそろえることを嫌い、暴走していたと反省しています。ただ、全力で子どもたちと向き合っていたかな…とも思います。それと、要所要所で魅力ある素敵な先輩教員との出会いが、迷いながらすすむ未熟な私を後押ししてくれました。

私の結婚式で、「グッドティーチャーよりもハッピーティーチャーになってください！」とスピーチしてくれた先輩教員の言葉が忘れられません。だから、子どもたちにも局面局面でグッドよりもハッピーを問うてきました。

今、現場は多忙を極め、いろいろな事が求められています。若手教職員はすごいと思います。授業・仕事はバリバリ、考え方もしっかりしていて、大人で…。ただ、世の中があまりにもグッドを求めすぎている気がして、それになんとか応えようと苦しんでいる方もたくさんいるように思います。みなさん、今、ハッピーですか？。要は、みんなでハッピーになるために組合があると思うし、グッドだけを求めている人は組合入んないんだろうな。あ、結局、組合のこと書いてますね（笑）。ありがとう、さようなら。

## 「湘南教組へエールを込めて♡」



執行委員2年目がもうすぐ終わろうとしています。当初は「2年か・・・」と思いましたが、振り返ればあっという間でした。思えば分会から執行委員を出すとなったとき、1年生の担任をしていました。2年、3年と持ち上がり、卒業させて異動かな？と思っていました。でも、周りを見ていろいろ考えてみると、親も元気でいてくれるし、子育ても終わっているし、自分が出るのがいいのかな？と思うようになりました。

いざ「二足の草鞋」を履いてみると、戸惑うことばかりでした。ただ、分会の皆さんも、執行部の皆さんもとても温かく、気持ちの部分で支えていただき、おかげさまで今日を迎えています。今まで狭いところで生きてきたことを痛感し、「他県では」「世の中では」一体どうなっているのかを、ほんの少しですがかじることができたと思っています。（まだ、ほんとにその程度・・・）

一番大きなハードルだったことは、20年ぶりにハンドルを握ったことです。ずーっと自転車族でした。しばらくは、初めて路上教習に出たかのようにものすごく緊張して、ナビの音がするたびにドキドキし、信号が立って続けにあるところでは、どこで曲がればいいのか迷った挙句間違えることも……。そして、年齢のせいと自転車離れから、ケガもしました。（要するに運動不足による筋力低下）そんな経験から、できれば、若い方が執行部に出たほうがいいのか？とも思いました。

私たち教職員が、今までたくさんの権利や制度を獲得してこられたのは、みんなが「組合」として力を合わせてきたからだと思います。これからも一分会員として、つながっていたいと思います。ありがとうございます。

## 夢のドア

小さなころから漫画ばかり読んでいました。スラムダンクにワンピース、中でも一番好きな漫画は「宇宙兄弟」。「宇宙兄弟」の中で、ある宇宙飛行士が子どもたちに向かってする話がとても気に入っています。

『人の人生にはいくつもの“夢のドア”がある。』

例えば「宇宙へ行く」みたいな大きな夢を持った時、

目の前に現れたでっかいドアに委縮して向こう側へ行くことを諦めてしまう。

「開けられるわけがない」と。

だが、ビビることはないんだよ。

本当はそんなにかいドアなんてものはない。

小さなドアがいっぱいあるだけだ。

手探りでもなんでもいい。意地でも次のドアに手を伸ばし続けることだ。

そんなことをしている間に、気付いたら宇宙遊泳とかしてるかもよ?』

組合活動も同じかな?

休日に行く動員。面倒くさい署名。ちょっと恥ずかしい団結ガンバロウ。

みんなでちょっとずつドアを開けていったらいつのまにか、

「教員免許更新制」や「全国学力・学習状況調査」なんてものも、なくなっているかもしれない。

そんなことを考えながら、今日も小さなドアを開けに行こうと思います。



## 学ばって楽しい♪



組合への想いをつぶやきます。つれづれなるままに。

...

知ることは楽しい。学ぶことは楽しい。知らないとつまらない。わからないと面白くない。

新採用の時、当時青年委員だった先輩に、組合に誘われた時のことを今でもよく覚えている。誘われたといっても、積極的勧誘というより、役割として声をかけてくれているという印象だった。

「何だかよく分からないだろうけど、とりあえず入ってみるといい。それで、よければ続けられればいいし、嫌ならやめればいい。俺もそうしている。」

私は組合員になった。組合は、少しきらいだった。定期大会なんて……。

その後、分会長を引き受けた。数々の動員。これは何の意味があるのか。対組織としての付き合いというものもあるのかな。地域協議会、分会から報告されることは、愚痴のようなことが多かったように思う。

さらに、執行委員になった。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。」私は、めでたく愚か者。自分で経験しないと、知ることができない。執行委員の今、人と話すことが楽しい。校長と、教育委員会と。考えに触れるのがたまらなく楽しい。特に執行委員会での論議。熱を帯びた賢い人たちがばかり。自分の知識や知恵が広がっていくのがよく分かる。

そして、学んだ。労わることの大切さを。皆、それぞれの場所でたたかっているのだから。教職員として、教育委員会として。県で、国で。政治家も、行政も。あるいは父として、母として。想像の及ばないところで。

やっぱり、知ることは楽しい。組合のことをなんだかいやだなとか感じている人、それは、よく知らないからかもしれません。そんな人は、執行委員になってみるといいです。知るためには、何度も関わって、よく観察すること。新しい学びに飢えている方も、ぜひ、次の機会に執行委員に立候補し、そこで力を尽くしてみてください。おすすめです。

ということで、とりあえず分会長も執行委員もやってみただけ、私はこれからも組合を続けることにする。

# 女性部だより

## 基本調査の結果から（一部抜粋）

10月から11月にかけて行った女性部基本調査は、2,082人の回答があり、男女ともにかかわる部分で、特に知っておいて欲しいことをお伝えします。

その中で「行使しなかった」の理由に、「制度を知らなかった」という人がどの項目にもいることが気になります。様々な要因で「とりたいがとれなかった」場合についても、組合としてとりくんでいくことはもちろんですが、その前に「制度を知らなかったから行使しなかった」という人を少しでも減らしていくことも大切です。この調査から浮き彫りになった課題については、日教組、神教組とともに、改善に向けてとりくんでいきます。そして、ぜひこの機会に、私たちの権利について「権利ハンドブック」を参考に、ぜひ各分会で確認していきましょう。

### （１）配偶者出産補助休暇（特別休暇）＊１

- A 行使した ① 3日以上…28人  
② 1日以上・2日以上…各24人

＊１ 妻の妊娠8ヶ月から産後2週間の間に半日または1日単位で計3日分の休暇をとることができる。（有給）

- B 行使しなかった理由（複数回答）

- ① 仕事の関係…22人 ② 制度を知らなかった・年休で対応した…各15人  
③ 行使したいとは考えなかった…13人 ④ 管理職に止められた…1人  
⑤ その他…12人

### （２）育児参加休暇（有給）＊２

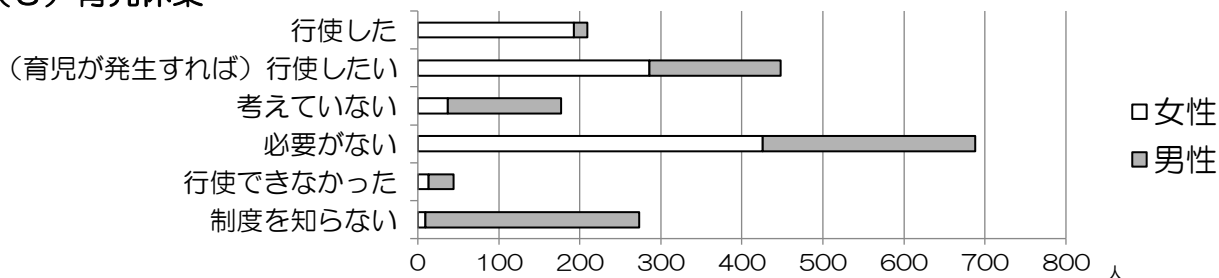
- A 行使した…44人

- B 行使しなかった理由（複数回答）

- ① 必要がなかった…36人 ② 職場に迷惑をかけたくない…23人  
③ 多忙…19人 ④ 制度を知らなかった…16人 ⑤ 年休で対応…10人  
⑥ その他…6人

＊２ 妻の産前・産後各8週間の間に出産の子、または未就学の子の養育のため、5日以内、1日又は時間単位でとることができる（有給）。

### （３）育児休業



#### 行使できなかった理由

- ・仕事が忙しい
- ・言いづらい
- ・男性はとりづらい
- ・経済的理由
- ・職場に悪い
- ・配偶者が行使した
- ・配偶者が専業主婦だった
- ・勤務地の人員の余裕がなかった

### （４）育児のための短時間勤務（育児短）現在行使中も含む ＊３



＊３ 小学校就学前までの子を養育する男女職員は、申請により、1週間あたり19時間25分～24時間35分の勤務時間を割り振ることができる。休業部分は無給。

- A 行使した…①週19時間25分…12人 ②週23時間15分…9人  
③週19時間35分…7人 ④週24時間35分…6人

- B 行使しなかった理由

- ① 仕事の関係…77人 ② 行使を考えなかった…70人 ③ 経済的理由…40人  
④ 制度を知らなかった…12人 ⑤ 代替者の配置…11人 ⑥ 管理職の要請…10人  
⑦ その他…21人（配偶者がとった・できないと言われた）

## 給特法が改正されて・・・その2

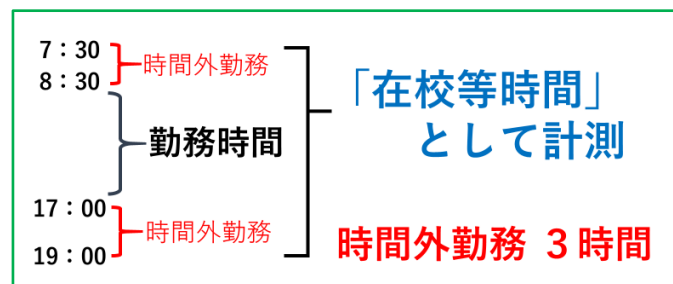
12月のニュースでは、第5条「1年単位の変形労働時間制の導入を可能とする（湘南教組は反対）」についてお知らせしましたので、今回は、もう一つのポイントである第7条「業務量の適切な管理等に関する指針を定める（2020年度4月施行）。」についてまとめました。

第7条を受け、1月に文科省は、県教委に対して、「健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針（上限指針）」を告示しました。

### 上限指針によって、「在校等時間」の客観的な計測が義務付けられる

上限指針の概要は、

- ①「超勤4項目」以外の業務を行う時間も含め、「在校等時間」とし、勤務時間管理の対象とする。
- ②時間外勤務の上限時間は、1か月45時間以内、1年間360時間以内。
- ③教育委員会は、上限方針を規則等に定める。在校等時間はICT活用等により、客観的に計測する。
- ④上限時間まで業務を行うことを推奨する趣旨ではない。
- ⑤実際より短い虚偽の時間を記録に残す、残させることがあってはならない。



この①～⑤になります。よって、市町教育委員会は教員の時間外勤務の上限（月45時間以内、年360時間以内）を定め、時間外勤務を縮減するために業務削減や人的配置などの環境整備をすることが法的に義務付けられました。「在校等時間」が客観的な方法で計測され、上限が設定されることは一定評価できますが、上限を守るための具体的な施策がなされていない状況です。

引き続き、湘南教組は、多忙解消のため、市町教育委員会に対して、「在校等時間」の客観的な計測の導入と、上限指針を規則等に定め、上限を守るための業務削減や人的配置などを求めています。合わせて、多忙解消の抜本的解決策である定数改善を、日教組、神教組に結集し、国に対して求めていくことが重要です。

### 教職員人間ドックWeb申し込み開始！！

申し込みは、**2020年4月1日（水）～2020年4月24日（金）17時まで！**  
検診機関への受信予約は、申込結果通知メール受信後に**ご自身で電話連絡**をすることになります。

#### 湘南教組 当面の予定

| 日にち       | 予 定            | 開始時刻  | 場 所    | 対 象       |
|-----------|----------------|-------|--------|-----------|
| 4月 3日（金）  | 財政委員会          | 16:00 | 湘南教育会館 | 財政委員      |
| 4月 7日（火）  | 全分会長会議         | 16:00 | 湘南教育会館 | 分会長       |
| 4月10日（金）  | 新採用・転任採用厚生会説明会 | 16:00 | 教文センター | 新採用・転任採用者 |
|           | 組合説明会          | 17:00 | 湘南教育会館 | 分会1名      |
| 4月13日（月）～ | 定期大会オルグ（24日まで） |       | 各分会    |           |
| 4月15日（水）  | 女性部委員会         | 16:00 | 湘南教育会館 | 女性部委員     |

\*新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、延期等の判断をした場合には、分会長へ連絡します。